

観光振興の糸口は？

東京都「Made In 北海道」展

東京都豊島区池袋のサンシャインシティで11月13日から12月13日まで開催中の「Made In 北海道」に11月13日から19日までの7日間、積丹町ブースの出店を行い、役場、観光協会、東しゃこたん漁協、商工会の職員その他、地域おこし協力隊員の計9人が町のPRと特産品の試食提供・販売を行いました。また、同会場で調査事業を実施した小樽商科大学八木教授及び学生3人もPR活動に協力いただきました。



「かな自然や豊富な素材を活用した道外ではあまり知られていない魅力的な商品」を本州の方々に紹介することを目的に北海道ブランド発信プロジェクト実施委員会（構成：北海道新聞社広告局、株式会社電通、有限会社アドウイン）が主催したテストマーケティングイベントで、会場内には知名度の向上を目指す新しい商品約300点が並び、積丹町からは、東しゃこたん漁業協同組合の「蝦夷あわび」、新おたる農業協同組合のトマトジュース2種「もてもてネ」と「かぐやひめ」、木村菓子舗からは平成25・26年度の実践型雇用創造事業で新たに開発された「えびしおサブレ」が出品され、試食提供された商品の味に来場者からは高い評価をいただきました。

今回のPRイベントへの参加は、国からの地方創生関連交付金を活用した「地域ブランド創造事業」の一環として



行われたもので、首都圏の積丹町での知名度を高めて「積丹」のブランド化を推進し、観光客の開拓による交流人口の増大を目指したものです。

会場では来場者から、「以前訪れた神威岬の景色が忘れられない。」「ウニの時期は？その時期にぜひ訪れてみたい。」といった言葉も寄せられ、その効果を実感するPR活動となりました。

このような他市町村と共に出店・出品を行うイベントでは、観光は「競争」だということを再認識させられ、積丹町もその競争力を維持・向上させるべく今後も情報発信や観光振興策の開発に努めていきます。

姉妹都市交流

第34回刃物まつりへ参加

積丹町地域間交流推進協議会（会長：鎌田淳史町自治会等連合会長）などの訪問団10人が、10月17日・18日に姉妹都市の高知県香美市で開催された第34回刃物祭に参加し、「積丹町北海道物産市場」として積丹町産農作物や珍味などの販売、町のPR活動を行いました。

刃物祭りへの参加は今回で18回目となり、今回も土佐山田婦人会の皆さんや香美市職員の皆さんのご協力をいただき、積丹町の出展ブースは「北海道積丹の味」を求める来場者が行列をつくり、積丹町産の商品は完売となる大盛況でした。

両市町の交流は恒例となっているYOSAKOIソーランへの合同チームでの参加のほか、6月に行われた味覚祭りには香美市より13名が来町、また8月には香美市児童等15名が来町し、美国小児童と交流するなど北と南の深い絆はますます深まっており、1月には美国小児童の香美市訪問が予定されています。



第45回 積丹町文化祭

芸能発表の部 (11月7日)



- 1 河岸悟郎文化祭実行委員長が挨拶
- 2 トップバッターの美国中学校吹奏楽部
- 3 きさらぎ会 斉藤さくらさん 菅野壘唯さん
- 4 野塚悠ゆう会 俵谷登美江さん
- 5 入舸婦人会 藤田幸江さん
- 6 美国小学校児童の息の合ったダンス

積丹町文化祭実行委員会（河岸悟郎委員長）主催の積丹町文化祭が、総合文化センターを会場に開催されました。

今回で第45回を迎える積丹町文化祭。展示の部は11月1日から3日まで行われ、保育園児や小中学生、町内文化団体や一般町民の方々278人から寄せられた書道や絵画、工作や陶芸な

ど計592点の作品が展示され、期間中訪れた461名の目を楽しませました。また、3日には茶道展やバザーも催され、賑わいを見せました。

7日には芸能発表の部が行われ、きさらぎ会や町内各地区の婦人会、カラオケ愛好会による歌と舞踊、美国中学校吹奏楽部と野塚小児童による楽器演奏、

美国小児童によるダンスや詩吟愛好会による詩吟の他、一般参加者もステージに上がるなど、参加者は日頃の練習の成果を發揮し、この日訪れた252名を大いに沸かせ、会場に拍手を響かせていました。

その一部を写真で紹介しします。

展示の部 (11月1日～3日)

▶ 力作が並び会場に延べ461人が来場。



◀ バザーも出展され賑わいを見せた。

熊本和子さん (74歳：美国町) 北海道ゲートボール協会から表彰状

積丹町老人クラブゲートボール協会の熊本和子代表（美国町：74歳）が11月1日、北海道ゲートボール協会から表彰を受けました。

今回の受賞は昭和63年から現在まで同協会に所属し、ゲートボールの普及促進に尽力されていることや、北海道ゲートボール連合1級審判員として、後輩の指導に当たられている功績が高く評価されての受賞となりました。町のスポーツ振興に、更なる活躍を期待しています。



50周年記念『団旗』を報告・披露

積丹町余別地区日赤奉仕団訪問研修、札幌市へ

10月26日、積丹町余別地区日赤奉仕団(新井田明美委員長・団員56名)が日本赤十字社北海道支部(札幌市)を訪問し、設立50周年記念と団員の意識高揚を目的に製作した新たな団旗を報告・披露しました。

新井田委員長は日本赤十字社北海道支部の大崎政仁事務局長に昭和40年の設立以来続けている同団体の活動や歴代委員長の思い出、同団の歴史について説明しました。一方、大崎事務局長からは北海道支部が行っている各支部への支援策などについて説明いただき、今後の奉仕活動に新たな展望を見出しました。また、道内で団旗を持つ支部は数少なく、今回の団旗製作努力について高い評価をいただきました。



▲左から松井町長、新井田ミツ子副委員長、吉田美代委員、坂野住民福祉課長、新井田明美委員長、鎌田事務局長、大崎政仁日赤北海道支部事務局長



▲NHK 高橋美鈴アナウンサーとの懇談

また、同日は、日本放送協会(NHK)札幌放送局の視察訪問も行い、中田裕之札幌放送局長の案内で、放送局内や撮影機材、実際に収録を行うスタジオの見学などを行い、更に道内ニュースでおなじみの高橋美鈴アナウンサーとの懇談の機会をいただくなど、充実した訪問研修となりました。

50年の長きにわたる日赤社会奉仕活動を続けて来られた同団体の今後の更なる活躍を期待しています。

公表

監査公表第2号

地方自治法第199条第12項の規定により、積丹町長から定期監査の結果に基づく措置を講じた旨の通知があったので、同項の規定により下記のとおり公表する。

平成27年10月30日

積丹町監査委員 山田文雄

積丹町監査委員 葛西敏夫

1. 監査結果提出日 平成27年7月17日
2. 措置通知提出日 平成27年10月19日
3. 講じた措置の内容

(1) 指導事項

指導事項	改善措置
[海岸漂着物処理委託業務] ・ 予定価格の積算根拠が不明なものがあった。	・ 事業執行にあたっては、予定価格積算事務における事務処理を含め適正な事務執行を徹底する。(商工観光課)
[分収造林事業基幹作業道婦美団地(六地区)第1号線第1工区開設工事、積丹牧場畜舎他解体工事、平成25年度月見橋長寿命化修繕工事] ・ 工期延長に伴い労災諸手続等がなされていないものがあった。	・ 受注者からの設計変更の承諾書を受理する際に「変更保証書」を提出させ、発注者としての確認を怠らないよう事務執行を徹底する。 ・ 受注者が概算保険料の変更手続きが必要か否かを確認のうえ、これが必要な場合は、受注者へ労働基準監督署への変更手続処理の励行順守を徹底させる。(農林水産課、建設課)

(2) 検討事項

検討事項	改善措置
[未来へつなぐ森づくり推進事業] ・ 間接補助事業において、交付決定前に着手されているものがあるため、事務処理の要綱整備について検討された。	・ 本補助事業は、国・北海道の補助制度上、事業実施後に補助申請を行うものであり、事務処理に沿った補助金交付要綱改正を了した。(農林水産課)